

イガラシ綜業株式会社 会社概要

■ 企業情報

企業名：イガラシ綜業株式会社

本社：茨城県日立市幸町 2-8-6 設立：昭和 54 年 4 月（創業：昭和 26 年 6 月）

資本金：3,000 万円 年商：約 25.8 億円 従業員：110 人

取引先：国、茨城県内の自治体、NEXCO 東日本等

事業内容：電気工事、管工事、プラント工事、再生可能エネルギー施工工事、
高速道路の保全、ドローンスクール運営 等

営業所：8 拠点（茨城県内 5、東京都、青森県、福島県（いわき市）各 1）

■ 代表者情報

代表者：代表取締役 五十嵐 則夫（55 歳）

経歴：平成 6 年 11 月 入社

平成 15 年 12 月 退職し独立

平成 20 年 2 月 復職 取締役副社長、東京営業所長就任

平成 23 年 9 月 代表取締役就任

平成 30 年 2 月 （株）茨城航空技術研究所（高萩ユーフィールド）※1、
（株）IGA メックス※2 を設立し代表取締役社長就任

※1 茨城県高萩市の廃校を利用したドローンスクール。ドローンの操縦体験（有料）もでき、敷地内にはキャンプ場やバーベキュー場を併設。

※2 青森県六ヶ所村の日本原燃関連施設において機械設備の設置、納品及び運転、維持管理までを一貫して業務を実施。本社所在地は青森県八戸市。



■ 浪江町での事業計画

場 所：室原地区（室原防災拠点東隣 約 7,600 m²）

開所時期：令和 7 年 11 月頃（当初計画：令和 6 年 4 月）

雇用計画：初年度 5 名、5 年後 20 名程度を想定

自立補助金申請額：962,000 千円（うち自立補助金 722,161 千円）

《事業内容》

○ インフラ設備点検用のドローン開発及び製造

- ・主に高速道路のトンネルや橋梁等の点検を人手から機械化に転換するため、小型 X 線を搭載したドローン、水素燃料ドローンを研究開発。
- ・収集したデータを分析するシステムを並行して構築し、自社利用以外でもドローンとパッケージで販売することを目指す。

○ 高速道路の保守点検拠点

- ・常磐道は三郷から岩沼までの保守点検業務を受注しているが、いわき市以北に営業拠点がなく、今回の進出で同敷地を営業拠点とする計画。

【参考情報】

・震災復興への思い

事業規模、雇用人数は比較的小さいが、日立で存在感のある老舗企業。ロボット・ドローンの研究拠点を探中、浜通り市町村を視察し、浪江が最も好印象だったこと、また役場支援体制が最も優れていたため浪江に決めた、との社長弁（令和6年10月開所式）。

また、水素を動力源とするドローンの開発により、主に道路や橋などのインフラ設備の点検用としての検討。また同社が茨城で実績のある、ドローンスクール、eスポーツ大会、など、産業人材の育成、地域振興による復興を具現化すべく、立地と同時並行で、当町との連携が始まっている。

・現在までのプロセス

2020.10 イガラシ綜業から県企業立地課に立地相談
2020.11 企業立地セミナーで初接触
2021.2 産業団地ではなくインターチェンジ付近の民有地購入を強く希望
2021.8 民有地の選定、地権者交渉により土地売買条件合意
産業振興課にてマッチング後、双葉不動産が仲介
2021.8 町から隣接住民に企業誘致状況説明（生活環境への配慮）
2021.8 浪江町への進出を正式表明
2021.9 自立帰還支援雇用創出企業立地補助金応募
2021.11 自立帰還支援雇用創出企業立地補助金採択（補助率 3/4）
2023.3 土地契約完了
2023.5 町長への表敬訪問
2024.10 起工式
2025.1 町長への表敬訪問
2025.4.8 町長と面談
2025.10.25 竣工式【今回】

【社会貢献活動について】

- ・サッカー J 2 の水戸ホーリーホックに出資。
- ・地域住民を対象としたゲームや e スポーツに関連する無料イベント（IGA CUP）を毎年開催。
- ・社会貢献活動を積極的に行う企業で、地域社会を大切にする企業風土がある。
- ・浪江においてもドローンを使ったイベントを企画したいとの意向あり。

以上